

## 人権教育に関する特色ある実践事例

基準の観点	協力的・参加的・体験的な学習を効果的に進めている実践事例
-------	------------------------------

### 1. 基本情報

○都道府県名及び市町村名

鳥取県岩美町

○学校名

岩美町立岩美北小学校

○学校のURL

<http://www.torikyo.ed.jp/iwamin-e/>

### 2. 学校紹介

○学級数

【通常の学級】 1～5 学年： 2 学級、 6 学年： 1 学級 【特別支援学級】 2 学級  
【合計】 1 3 学級

○児童生徒数

【全児童生徒数】 2 2 6 人（平成 2 6 年 1 1 月 1 4 日現在）  
（内訳： 1 年生 3 5 人、 2 年生 4 1 人、 3 年生 3 5 人、 4 年生 4 8 人、  
5 年生 3 8 人、 6 年生 2 9 人）

○人権教育開発推進事業、人権教育研究推進事業実績（実施年度及び事業の別）

平成 1 9 ～ 2 1 年度人権教育開発推進事業人権教育総合推進協力校

○学校の教育目標、人権教育に関する目標など

【学校の教育目標】

心豊かに、なかまと共に伸びる児童の育成

【人権教育に関する目標】

自尊感情を育て、多様な他者と豊かにつながると共に、人権を尊重する実践的な態度を育てる。

○人権教育に係る取組一口メモ

思考ツールの効果的活用等による協力的・参加的・体験的な学習の授業開発

○人権教育にかかる取組の全体概要

「友達とのつながりを大切にする子供」「地域とのつながりを大切にする子供」「主体的に学習に取り組む子供」を目指し、生活科と総合的な学習の時間を中心に、協力的・参加的・体験的な学習を効果的に進める授業改革に取り組んでいる。

【研究主題】

仲間や地域とつながる児童の育成

～生活科、総合的な学習の時間の学びを通して～

### 3. 特色ある実践事例の内容

#### ◆ 協力的・参加的・体験的な学習の授業開発の取組

##### ○取組のねらい、目的

目指す児童像を以下のように設定し、生活科・総合的な学習の時間を中心に、人権教育の視点から授業改革に取り組むこととした。

- ・友達とのつながりを大切にする子供
- ・地域とのつながりを大切にする子供
- ・主体的に学習に取り組む子供

##### ○取組を始めたきっかけ

本校児童は全体的に元気がよく、外遊びを好む児童が多い。地道に学習に取り組み、読書を好む児童も多く、委員会や当番活動など自分の役割を責任もって果たす児童が多い。反面、自信が持てず自尊心が低く友達の考えに流される、ふるさとへの愛着を余り感じていない、学習に意欲的に臨めないなどの課題を持った児童も少なくない。そこで、児童が①心からつながりあう、②ふるさと岩美町への誇りと愛着を深める、③自ら主体的に学ぶのに最もふさわしい時間である生活科・総合的な学習の時間を中心に、研究に取り組むこととした。

##### ○取組の内容

～生活科・総合的な学習の時間を中心とした研究～

##### (1) 全体計画の検討、年間指導計画の見直し

- ・教育活動全体の中での生活科・総合的な学習の時間の位置づけを明確にする。
- ・年間を通した活動の流れを、バランスを考慮して再構築する。

##### (2) 学習材の発掘と蓄積

- ・地域に学び地域に貢献する中で、地域への愛着をより深めることを目指し、地域の学習材を積極的に活用する。
- ・実践記録を蓄積し、成果の上積みと課題の克服に努める。

##### (3) 児童の学習意欲を高め、主体的な学びを引き出すための実践の在り方の検討

- ・単元のゴールイメージを明確にし、児童が単元及び本時の流れをイメージしながら、自ら課題意識を持って探求できるようにする。

(例)「岩美オリジナルグルメをつくろう」

「ふるさと検定をつくろう」

「岩美の昔 100人に聞きました」等



▲シュノーケリング体験



▲避難所模擬体験



▲赤ちゃんとの交流



▲盲導犬ユーザーさんとの交流



▲老人クラブとの昔遊び交流

- ・聞き方・話し方の系統表を作成・掲示し、児童がつながりあう基盤をつくる。
- ・思考ツールを活用する、ペア・グループ・全体等様々な学習形態を組み合わせる、話し合いの心構え・ルールを明示する等により児童が主体的に話合えるようにする。

(思考ツールの例)

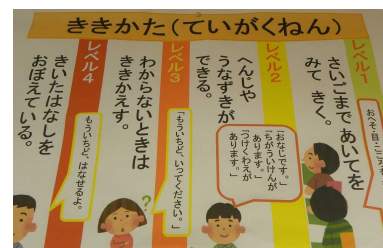
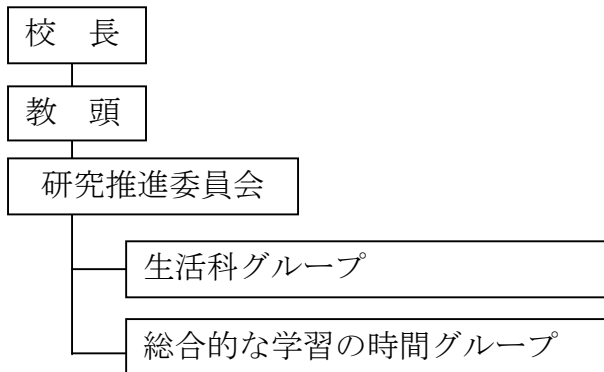
「レーダーチャート」「マトリクス表」  
「マッピング」「ピラミッドチャート」  
「ホワイトボードミーティング」等

話し合いの心構え・ルール

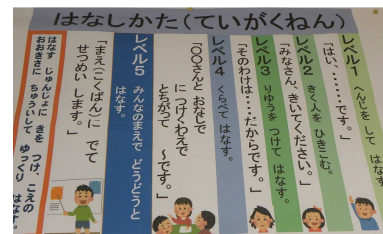
- 一、目当てや課題にあった意見を言う。  
(建設的な意見を述べる)
- 二、みんなの意見を大切にする。  
(相互に尊重しあう)
- 三、多数決だけで決めない。  
(少数意見も大切にする)
- 四、わけ(理由)を話す。  
(根拠を明らかにして述べる)
- 五、気持ちのよい話し合いをする。  
(納得できる話し合いを行う、折り合いをつける、相手の気持ちを考える)

- ・振り返りシートを活用し、自己の学習を振り返ると共に、次の学習への見通しを持たせる。

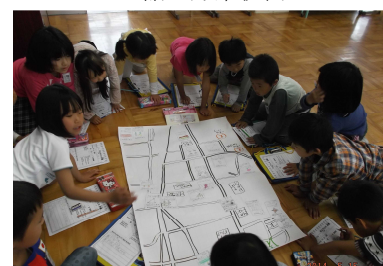
○取組の主体や実施体制



▲聞き方系統表



▲話し方系統表



▲マッピング



▲ホワイトボードミーティング



▲ペア学習

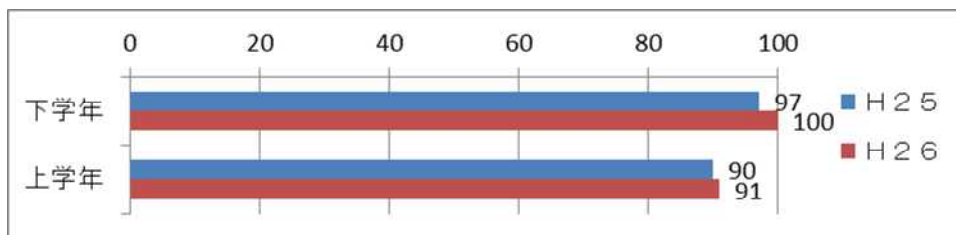
#### 4. 実施する際に生じた課題及びその解決策

○探究的な学習のスパイラルのうち、「課題の設定」「情報の収集」の過程では児童の主体性を引き出す活動を仕組みやすかったが、「整理・分析」「まとめ・表現」の過程ではそれが難しかった。このため、「レーダーチャート」「マトリクス表」等の思考ツールを活用するとともに、ペア・グループ・全体など様々な学習形態を組み合わせる等の工夫をすることとした。

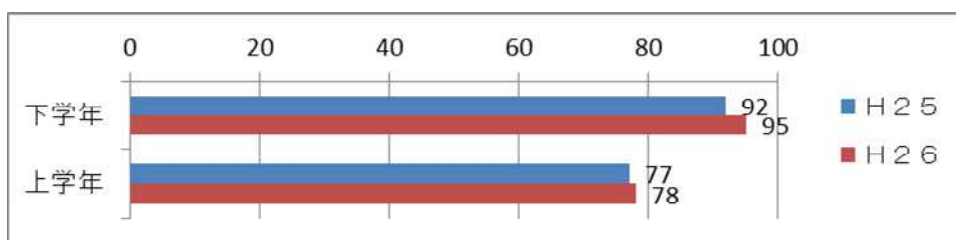
## 5. 実践事例の実績、実施による効果

【児童のアンケート結果より】

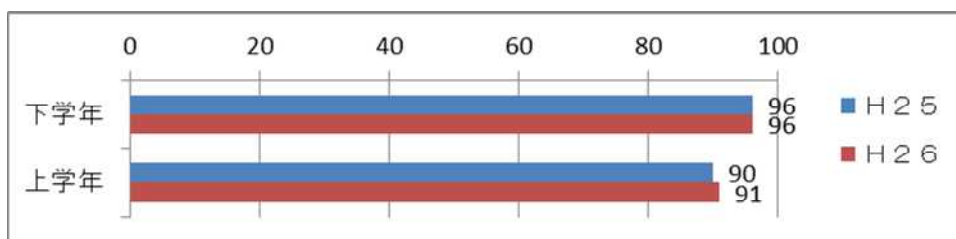
- 1 生活科や総合的な学習の時間で地域に出かける活動や交流を楽しんだ。



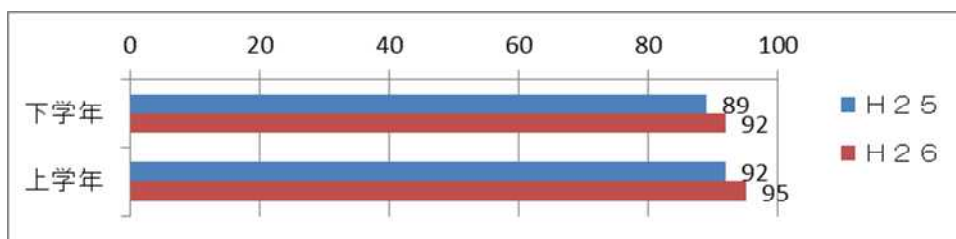
- 2 自分の考えや思ったことを発表することができた。



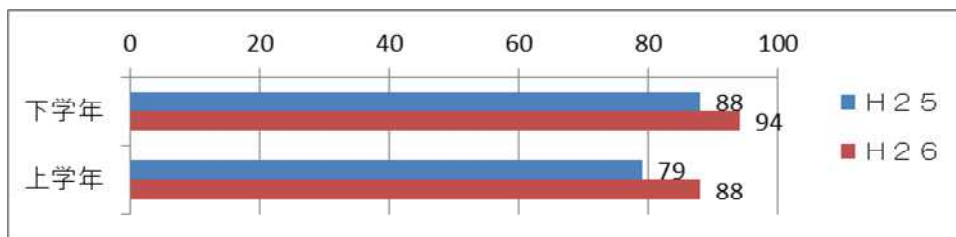
- 3 ペアやグループやクラスの話合いに、進んで参加することができた。



- 4 友達や先生の話をしっかり聞くことができた。



- 5 めあてをもって学習に取り組んだ。



## 6. 実践事例についての評価

### 【成果】

- ジオパークとして世界にも認められた貴重な自然の豊かさを感じとったり、地域の人々が守り続けてきた伝統への思いを知ったり、専門家の方々の興味深いお話に耳を傾けたりすることで、ふるさと岩美への児童の愛着心を深めることができています。
- 児童が単元のゴールイメージを明確に持ちながら取り組めるようにしたこと、様々な思考ツールを導入したこと等により、児童の主体的な学びを引き出すことができています。
- 聞き方・話し方の系統表、話合いの心構え・ルール of 明示等により児童の話合い活動が充実し、仲間意識を強めることができています。

### 【課題】

- 思考ツールを活用した「整理・分析」「まとめ・表現」についてはまだまだ改善の余地がある。
- 研究の成果を他の教科等に生かしていく必要がある。

## 【人権教育の指導方法等に関する調査研究会議によるコメント】

### 岩美町立岩美北小学校

生活科と総合的な学習の時間を中心として人権教育を進めた事例である。協力的・参加的・体験的な学習を幅広く活用している点が特徴的である。学習意欲を高め、主体的学習を促進するために、「岩美オリジナルグルメを作ろう」「故郷検定を作ろう」等々の単元を設け、「レーダーチャート」「マトリクス表」等々の思考ツールを活用するなどして成果をあげている。地域とのつながりを活用し、友達を大切に、主体的に学習に取り組めるように、体験を通じた人権教育の推進をはかっているところが興味深い。